



発行者:愛媛県東温市横河原366 国立病院機構愛媛病院 発行責任者:院長 西村一孝 <http://www.ehime-nh.go.jp>



大銀杏と薬師堂(東温市井内)

## も < じ Contents

感染管理専任化 . . . . . 2	医療安全管理室だより 20 . . . . . 5
counter attack infection	同姓? 同名?
目立ちませんが . . . . . 2	おいでんか~ . . . . . 5
診療情報管理室	健康フォーラム2010
医鉢相伝 . . . . . 3	春暖の日 . . . . . 5
第4回 臨床研究部講演会	愛媛病院境内小景
ただいま、湯汲です . . . . . 3	医療の輪 . . . . . 6
新任ドクター紹介	中野クリニック
弦の調 . . . . . 3	好プレー 珍プレー . . . . . 6
サマーフェスティバル	賀茂精神医療センターと交流試合
県外からも受講 . . . . . 4	看護学校の頁 . . . . . 7
看護外来介護教室(吸引)	オープンスクール
季節の味覚をどうぞ . . . . . 4	ちょっと言い放し . . . . . 7
おやつワゴンサービス	外来診療担当医表 . . . . . 8

※弊誌の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

# 感染管理 counter attack infection 専任化

私は「感染管理認定看護師」(以下ICN)の資格を得てから今年で6年になります。日本看護協会が「高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がり」と看護の質向上」を目的とし、この資格認定制度は発足しました。資格を得るには一定の期間、専門の教育機関で専門の教育・研修を受け認定試験に合格する必要があります。国内でICNが誕生したのは1997年で、現在愛媛県内では14名のICNが活躍しています。私は、半年間、東京で研修生活を送り、2004年に資格を得て、昨年は更新審査(5年ごと)を終えました。

資格獲得後は、病棟などで看護師としての業務と兼任で行ってきましたが、この4月からは感染対策専従となりました。大きなプレッシャーを感じつつも、心身ともに余裕を持てるようになり、院内感染防止対策マニュアルの作成、そして現場での指導や院内外での研修の講師などの教育や啓蒙活動の充実に努めています。また、地域社会へも目を向けようと、愛媛病院だけでなく周辺施設で勤務している医療従事者の方に向けての公開講座も今年の冬にむけて企画しています。

ICNとして活動してきた6年間、日々の問題解決の過程や昨年の新型インフルエンザ対策などの経験のなかで、人間関係をいかに構築していくかということの大切さを感じています。感染対策は一人でできるものではありません。

ん。どうやら私は「一言多い」らしいのですが、小さなバトル(!?)はありながらも、医師や看護師だけでなく薬剤師や検査技師、事務職員の皆様など様々な職種の方が協力してくれます。現在問題となっている薬剤耐性菌についても、当院では検査技師や病棟スタッフがこまめに情報提供してくれますが、それぞれの「ちょっと言っておこう」「これでいいんだろうか」という気持ちが感染防止対策の維持と向上には必要です。人員を増やしたりお金をかけることで効果が得られるものではないため、患者さんも含めてみんなで取り組む姿勢が大切です。これらの活動の中で、自分自身の感染対策に関する専門性を高められることは、この仕事のやりがいですが、活動を通じてできた人との繋がりも大きな財産だと感じています。あと目下の課題は「後輩育成」…誰かこの指とまってくれんかなと密かに念じている今日この頃です。

感染管理認定看護師 若林 美代子



ICNメンバー

## 目立ちませんが 診療情報管理室 こんな仕事です

「診療情報管理士」って知っていますか? 名前の通り「診療情報を管理する人ですか」「そうです、その通りです」ですが、もう少し詳しく言うと、診療情報管理士とは「診療記録及び情報を適切に管理し、そこに含まれるデータを加工・分析・編集し活用することにより医療の安全管理、質の向上及び病院の経営管理に寄与する専門的職業である。」とあります。つまり、現在の情報化時代に対応出来るように

- ①コンピュータによる診療データの管理
- ②疾病統計も作成可能な情報の整理
- ③医療評価・医療連携などで有効に活用出来る情報管理及び提供

以上が可能な能力を持つ業種の事です。



当初は診療録管理士で始まった資格でしたが平成8年に診療情報管理士と名称を変更し、両資格者を加えると認定者数は平成22年5月現在で21,723人となります。

そもそも診療情報管理士を目指すきっかけは、平成16年に当時の看護部長から「診療情報管理士の試験を受けてみませんか?」との話があり、その頃は病棟で入退院診療録関連の業務をしていて興味があった事と、「ノー」と言えない性格なので受けてみる事にしました。2年間の通信教育を終了し受験資格を得て、資格認定試験を受験しました。当時は今と認定試験の方法が少し変わっていた事もあって、幸いにも合格し診療情報管理士になる事が出来ました。

ところで当院では平成20年10月に診療情報管理室が設けられ、同時に本格的な情報管理が行われるようになりました。現在は、退院患者さんの診療記録全般を病棟から受け取り、そこに記載されている情報をICD-10(国際疾病分類法)に基づいてコンピュータに入力しています。

これは将来的に、当院で各種の医療統計等を出すときに、大本のデータベースとして使うための準備段階といえます。当院の診療情報管理は緒に着いたばかりですが、これから蓄積されていくデータが増えれば増えるほど、より正確な統計を出すことができ、診療や病院の運営・経営等々多方面に活用することが出来ます。表舞台に立つことはない地味な仕事ですが、正確な情報管理を心掛けてこれからも頑張っていきたいと思えます。

診療情報管理室 水口 眞光

## 第4回 臨床研究部講演会

平成22年6月18日(金)に臨床研究部講演会を開催いたしました。臨床研究部主催の講演会も開始してから早いもので本年度4回目となり、春の恒例行事となってきた感があります。本年度は循環器関連で高田康徳先生(愛媛大学大学院分子遺伝制御内科学)と青柳幸利先生(東京都老人総合研究所 老化制御研究チーム)を講師としてお招きし、18:00よりカンファレンス室にてそれぞれ1時間ずつ最近の研究成果についてご講演いただきました。

高田先生は、近年、LDLコレステロールの管理にスタチン製剤が有効であることが解明されるにつれ、その他にも多くの因子が関係していることがわかってきたこと(特にメタボリック症候群や糖尿病患者でこれらの因子が高頻度に認められ、お互いに強く関連していることが分かってきた)、その中でも高sdLDL血症が注目されることを解説されました。また、現在行っている研究(食事負荷・sdLDL測定・血管内超音波検査)により明らかになった心血管病リスク管理と治療の問題点についてわかりやすく説明していただきました。

青柳先生は、2000年より群馬県中之条町で続けておられる中之条研究(活動量計を用いた、高齢者の日常的な身体活動と心身の健康との関係についての研究)の成果について述べられました。高齢者の健康には、運動量に加えて一定の中強度の運動が必要なこと、男女差があること、気象条件が関係すること、などを分かりやすく解説していただきました。現在はこの成果に基づいてオーダーメイドの予防医学システムを開発していて、全国各地で地域の特性を加味した健康対策に取り組んでいることをお話しされました。

両先生とも、自分のアイデアで独自の研究を展開しておられ、愛媛病院の臨床研究のあり方・進め方にも大変参考になったと考えます。

本年も病院内外から50人ほどの方に聴講に来ていただき、講演後には活発な質疑応答もあり、有意義な講演会とすることができました。今後も、臨床研究推進のために有益と考えられる講演会を適時開催してゆきたく思いますので、ご参加・協力を宜しくお願いいたします。最後に、今回もポスター作成・会場準備・スライド係・軽食準備などをしていただきました看護部はじめ関係者に深謝いたします。

臨床研究部長 松田 俊二



青柳先生(左側)と高田先生

## 医 鉢 相 伝

ただいま、

9月1日より外科に赴任して参りました湯汲俊悟(ゆきみしゅんご)と申します。当院での勤務は2回目です。

前回は平成19年10月から翌年1月までの短期間でした。そもそもはより長い勤務を希望しておりましたが、当時の医局の事情もあり、わずか4ヶ月で大学に帰局する事になってしまいました。しかし、帰局後も愛媛病院でまだまだやり残した事もあったという思いがあり、残尿感の残る感じは否めず、今回は医局に愛媛病院への転勤希望を申し出ていましたところ、この度やっと希望が叶いました。

前回勤務した時点までは主に消化器外科を主体としたトレーニングを受けて参りましたが、当時こちらで呼吸器外科をされていた中村憲二副院長の影響もあり、大学では呼吸器外科を中心にトレーニングを積んで帰って参りました。微力ではございますが、できる事からコツコツとやっていく所存ですのでどうか宜しくお願いいたします。

湯汲です。



サマーフェスティバル

7月9日(金)、恒例の重症心身障害児(者)病棟のサマーフェスティバルが、四季のイベントと共催で行われました。残念ながら当日は朝から雨…屋内での実施となりましたが、会場までの通路に吊られた提灯が祭りのムードを盛り上げ、入院患者様とご家族、当院看護学生や職員が集う盛大なイベントとなりました。

重症心身障害児(者)病棟の患者様にはそうめん、ジュース、くじ引きの模擬店が催され、それぞれに日頃味わえない味覚や祭りの雰囲気を楽しんでいただきました。

その後は、美人演奏者による弦楽三重奏のコンサートが開かれました。バイオリンやピオラ、チェロの奏でる優美な音色に皆さんじっと耳を傾けたり、耳慣れた曲では口ずさんだりと、色々なジャンルの曲で楽しいひと時を過ごしていただきました。

美しい音色に酔いしれ、楽しいひと時を過ごすことができた夏の夜、終了時刻にはお星様が輝いていました。皆さん素敵な夢を見ることができたことでしょう。



## 県外からも受講

平成20年3月より地域連携室では、医療連携機関や施設の職員を対象に研修会を開催し、これまでに600名近い受講者がありました。

今回は看護外来との共催で「安全な痰の吸引（口腔・鼻腔・気管）」を、看護師・理学療法士・作業療法士向けと、介護職員向けの2講座を6月と7月の2回に分けて開催しました。

こうかな…

ここですね



これは今年の3月24日付で厚労省から出された「在宅におけるALS以外の療養患者・障害者に対するたんの吸引の取扱いについて」という通知を受けたもので、これまで看護師にしか認められていなかった吸引が、一定の要件（指導・研修を受けている。患者の容態が安定している等）を満たしていれば介護職員や、理学療法士・作業療法士にも認められるというもので、対象となる介護職員や理学療法士・作業療法士の方々に、正しい知識と技術を身につけて頂くために開いたものです。

また今回は院外ホームページでもPRした結果、県内外の様々な施設から問い合わせや申し込みがあり、中には遠く神奈川からの受講生もありました。

当日はどの受講者も真剣なまなざしで、患者さんに見立てた実習用のモデル人形で納得のゆくまで実習を行っていました。また、実際に自分の施設に帰ってから実施する際の現実的な問題についての質問なども出ていました。

最終的には2回合わせて32施設111名の方が受講し、当院で発行した受講証明書を手にとりそれぞれの施設へ帰って行かれました。

## 地域連携ミーティング研修（吸引）

## おやつのリボンサービス

季節の味覚をどうぞ

病気の回復や健康の維持に、食事は重要な役割を持っています。入院患者様に1日でも早く回復していただくため、当院では患者様の症状に応じた適切な食事を提供しています。

今回は今年の6月から新しい取り組みとして実施している、ワゴンサービスをご紹介します。当院には、49床の結核病棟がありますが、一般の病棟と比べて自由な出入りができない病棟で、入院期間は比較的長期となります。

栄養管理室ではこの長期となりがちな入院生活の満足度を、提供する食事でも向上させることが出来ないものと常に意見交換をしています。その中で毎月1回当院

調理師手作りの「お菓子と飲み物をその場でサーブして提供する」という

案が具体化されました。実施する時間や内容については、病棟職員とも話し合いをもち第2水曜日の午後3時からと決めました。

手作りお菓子は季節を感じていただけるよう6月はオレンジゼリー、7月はアイスクリーム、8月はとろろんを実施しました。

治療上、アイスクリームを召し上がれない方には手づくりシャーベット、とろろんを召し上がれない方には手作り水ようかんを提供しています。9月は「水かんてん」と言って、口の中で溶ける和菓子を計画しています。飲み物も季節や気温を考慮し、夏には冷たいコーヒー・紅茶・りんごジュース、寒い時期には、温かいお茶・抹茶を計画しています。このサービスは「患者満足度を向上させる」という当院の方針により、患者様からは一切自己負担を頂いておりません。

患者様からは、「毎月とても楽しみにしている」というご意見を多数いただいております。これからも治療食の充実・食事内容の改革に栄養管理室職員が一丸となって取り組んでいこうと思います。

栄養管理室 竹内千代美  
※脱稿は8月下旬です。



おいしそうじゃな〜

どうぞ〜



# 医療安全 管理室 だより

⑳こんなことしています

## 同姓？

## 同名？

1999年に心疾患患者と肺疾患患者を取り違えて手術をしてしまった医療事故の報告は、医療安全を見直すきっかけになった事故として印象深いものであり、当院でも患者間違いがあってはならないと取り組んでいます。

2008年当院の調査では、一番多い同姓患者さんは「ワタナベ」2,260名、一番多い同姓同名の患者さんは「ワタナベヨシコ」21名の登録があり、フルネームで確認する、必要時は生年月日で確認する事の重要性を再確認しました。「すべての場面において名前確認は医療者の責任」とし、「医療者は名前を聞き、患者さんが名前を名乗れる場合は名乗って貰って確認をする事」をルールとしています。

2010年5月6日に患者間違いに関する体験報告が各部署からあり、間違いの要因は「思い込んでいた」「焦っていた」「聞き間違った」「見間違った」「自分はしなくても間違いはないだろうと思った」など確認が不十分でありルールは守られていない報告でした。

7月を「名前確認強化月間」とし、名前確認について各部署の実事例での意見交換、具体的防止対策の提出を課題にしました。

今回は医事（会計窓口）の提出レポートを簡単に紹介します。

Q1. 名前間違いで何が起きるか？

- ①返金・追加等で患者さんに迷惑をかける。
- ②個人情報（保険証書等）が他人の目に触れる。
- ③薬局でも気がつかなければ他人の薬が処方される。また内服してしまう。

Q2. なぜ間違ったのか？

- ①名前を呼んだが耳が遠く自分であると思われた。
- ②会計時の確認が不十分であった。（名前を名乗って貰わなかった）

Q3. 正確な確認は…名乗っていただける時

- ①名前を名乗っていただけることを徹底する。

Q4. 正確な確認は…名乗っていただけない時

- ①こちらから名前を呼び、間違いがないか確認する。
- ②耳の遠い人であれば、名前・生年月日を記入して貰い確認する。

Q5. みんなが実行できる具体策

- ①会計時にこちらから名前を呼び、本人が来られたら患者さんの方から名乗って貰う。

現在は、取り決めた対策が実行ができています。

一番の心地よい言葉は自分の名前であると読んだことがあります。日々の業務の中で名前をしっかりと確認し、心地よい言葉を通して安全な医療の提供ができるように取り組んでいきたいと考えています。



## おいでんか～

# 健康フォーラム 2010

日時 2010年11月14日(日)  
10:00～14:00

場所 東温市中央公民館  
東温市田窪2370  
TEL 089-964-1500

催事 シンポジウム  
「糖尿病について」  
パネリスト  
愛媛大学 西田 瓦先生  
愛媛大学 大西和子先生  
ほか

食育劇 まっすんの健康 劇場  
上演 まつやまアーツマネジメント

歯科検診・医療相談・身体測定  
アロマセラピー・救命救急実技体験  
まかない料理・東温市物産販売

等々

お問い合わせ  
東温市川内健康センター  
TEL 089-966-2191



## 春暖の日

## 愛媛病院境内小景

6月30日院長室にて絵画の寄附式及び感謝状贈呈式が執り行われました。寄贈者は、中国山水画家 牛子華（ニウ シカ）先生です。作品名は、「春暖の日」～愛媛病院境内小景～で25号の大作です。

絵画の寄贈の経緯は、先生の奥様がこの春当院に入院された際、医療スタッフの心温まる対応に大いに感激されたことからでした。奥様の退院後感謝の意を込めて当院の敷地にある桜の美しさを思い浮かべながら作品を完成されたとのことでした。

牛先生は、1997年来日後愛媛県砥部町にアトリエを構えられ、数々の作品を発表され入選をされておられます。現在は、全日本水墨画芸術家連名常務理事、日中友好書画研究会顧問、NHK松山文化センター講師を勤められておられます。

寄贈頂いた作品は、外来診察室の第6診横の壁面に展示いたしましたので、是非一度その素晴らしい色合いと描写をご覧ください。



贈呈式にて、牛子華先生（右から4人目）と奥様（右から3人目）

# 医療の輪



## 中野クリニック

### 繋がる地域医療連携

平成14年1月東温市志津川に診療所を開設し、早くも8年6ヶ月が過ぎようとしています。開業するまでは、愛媛大学医学部附属病院の他に、新居浜市・宇和島市・松山市の病院に勤務し、脳神経外科医として診療してきました。また、これらの病院は救急指定病院だったこともあり、一般的な救急医療にも幅広く携わってきました。

さて現在は、地域に根ざした医療を目指し、MRI検査を中心とした脳神経外科的診断や治療と、皆様の『かかりつけ医』としての診療をしております。しかし、これまでやってこられたのも、多くの先生方のご支援があったからこそです。特に愛媛病院の先生方には、時間外や休日にも関わらず急な診療・入院を御願いすることがしばしばありました。感謝の念にたえません。本当にありがとうございます。

今後とも何卒宜しく御願ひ致します。

施設名	中野クリニック
住所	東温市志津川1577番地1
電話	089-960-5800
ホームページ	<a href="http://www.nakanoclinic.jp/">http://www.nakanoclinic.jp/</a>
医師	中野 敬
診療科目	脳神経外科・リハビリテーション科
診療時間	午前9:00～12:30 午後2:00～6:00 木曜・日曜は午前のみ
休診	月曜・祝祭日



## 好プレー 珍プレー

### 賀茂精神医療センターと交流試合

7月10日土曜日。まさに「夏!!!」というドピーカンの天気と気温の中、伊予市にあるウェルピア伊予のグラウンドで、賀茂精神医療センター（広島）野球チームと当院野球チームとで交流試合2試合が行われました。

1試合目は12時45分プレイボール。当院の先発投手は山本看護師。粘り強い投球で賀茂打線を3点に抑えました。また、打線もこれにこたえて6点をもぎ取り勝利しました。

2試合目は15時プレイボール。先発は中村看護師、2番手は豊岡看護師でしたが、試合は乱打戦の様相を呈し終わってみれば、10対5でまたしても当院が勝利を収めました。

2試合とも和やかさと程よい緊張感のある試合で、流石、元甲子園球児と唸りたくなる好プレーや、抱腹絶倒の珍プレーが随所に見られました。また、応援に駆け付けた女子職員の黄色い声援も選手たちを後押ししていました。怪我人が出ることもなく17時頃全試合を終了しました。

機会があれば、また交流を深めてゆきたいと思っています。賀茂精神医療センターのみなさん、遠路遅々ありがとうございました。選手、応援のみなさんお疲れさまでした。

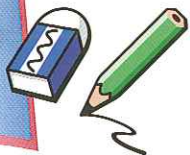


勝ったと〜

# 看護学校の頁

～学び舎から～

## オープンスクール



### オープンスクールを終えて

平成22年7月24日(土)、愛媛病院附属看護学校のオープンスクールを開催し、高校生をはじめ、社会人の方など合計79名と多くの方に参加していただきました。

当日のスケジュールは、午前中は、学校の概要や学校生活についての説明と、『吸引～口腔・鼻腔』の公開講座。午後からは、看護技術体験(口腔・鼻腔吸引、呼吸音・心音聴取、衛生的な手洗い、新生児の抱き方と沐浴)をメインに、在校生との歓談などがありました。

看護技術体験は、実際に呼吸音や心音、腸蠕(ぜん)動音が聴取できたり、瞳孔の対光反射の観察や血圧測定ができる実習モデル人形を使って、私たち看護学生が指導役になって体験するというもので、私は「呼吸音・心音聴取」を担当しました。肺炎に設定した人形を相手に、患者さんの状態観察する場面を見てもらい、その後で、参加者に聴診器を使って、人形の呼吸音や心音の聴取、血圧を測定してもらいました。実際に心音や呼吸音が聞こえた時に、参加者の表情がぱっと輝いたり、笑顔になったり、頷いたりする姿が印象的でした。

皆さんから、「呼吸音など他では実際に聞くことができないので面白かった」「人形がリアルで驚いた」「感激した」など多くの感想をいただきました。

このオープンスクールに参加して、私たち自身も多くのことを学びました。説明や演示は、今まで1年半学校で学んだ自分の看護技術を振り返る機会にもなりました。また自分たちがモデルになって、他の方に技術を見ていただくのは初めてだったので、とても緊張したのと同時に、正確な技術がなければ、人の模範になることは難しいことを実感しました。今後も、色々な教材を活用しながら、看護技術を高めていきたいと思えます。

今回のオープンスクールの参加者の中から、少しでも看護師に興味を持ち、同じ看護を目指すものとして、私たちと一緒にこの学舎で学ぶ人が増えてほしいと思いました。

8期生 中平 千代

赤ちゃんの心音、  
聞こえる？



ちっちゃい

## ちよつと言ひ放し

愛媛病院ニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

日本の晩婚化は、1970年あたりから見られ始め、平均初婚年齢は1969年に男性26.9歳、女性24.2歳でしたが、年々上昇傾向をたどり、2009年には男性30.4歳、女性28.6歳となっています。

私も以前は、結婚なんてまだまだ先のこと！と感じていましたが、最近では昔なじみの友人と近況報告(自分自身のこと、周りの友人のこと)すると、「去年結婚した!」とか「妊娠中☆」とかという話を聞くことが多くなり、私も自身も結婚について意識するようになりました。とは言ってもまだ予定はないのですが…(残念)

おそらく、キリスト式結婚式に参加されたことのある方なら一度は耳にされたことがあるかと思いますが、友人の結婚式に招かれた際、神父さんが結婚に対する下記聖書の教えを朗読されました。

「愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。」

私はクリスチャンではないですが、この言葉を教会で聞いたときは、心に染みるようでした。また、この教えは結婚相手に限らず、家族との関係にも当てはまることだと思えます。長く一緒に時間を過ごしていると、私にしてくれることが当たり前を感じ、相手への思いやりがなくなったり、つい嫌みを言ってしまうって後悔したりということがあります。

とても難しい教えだと思っておりますが、この教えを心のどこかに忘れずに置いておくと、理想的な夫婦関係・家族関係を築いていくのかもしれないな、と思います。

まだまだ、些細なことに目くじらを立ててしまう私ですが、将来すてきな旦那様を見つけて温かい家庭を築いていきたいと思えます。

flower



# 外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858  
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

診療科	月	火	水	木	金	
内科	循環器	岩田(午前)	橋田	橋田(午前)	岩田	船田
		船田		森岡		
	消化器	廣岡		古田	久保	久保
	呼吸器	阿部	市木	西村	阿部	市木(午前)
		佐藤(午前)	渡邊		植田	三好(午後)
神経	河野(第1・3午前)	宮崎(午前)			戸井	
	橋本(第2・4午前)					
専門外来 (完全予約制)	心臓リハビリ 橋田	アスベスト外来 13:00~16:00	心臓リハビリ外来 8:30~12:00	ペースメーカー外来 第2・4	禁煙外来 佐藤 14:00~16:00	
			神経難病 橋本	肺がん検診 西村(午後)		
	SAS外来 渡邊	心臓リハビリ 橋田	心臓リハビリ(午後) 橋田(午前)	スキンケア外来 第1・3(午前)	心臓リハビリ	
			SAS外来 植田	アスベスト外来 13:00~16:00		
外科			ペインクリニック 山内	心臓リハビリ(午前)		
		鈴木		消化器外科 渡部(隔週)		
			呼吸器外科 澤田(第1予約制) 湯汲(第2・4予約制) 末久(第3予約制) 山下(第5予約制)			
			心臓外科 泉谷(第2・4予約制)			
整形外科 午前のみ診療	横手	曾我部	横手	宮本	宮本(第2・4)	
	宮本		曾我部		曾我部(第1・3・5)	

※外来受付は午前8時30分から午前11時までです。ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。2010年10月1日現在  
 ※容体急変の心臓疾患・急性呼吸不全の患者様は24時間受け入れます。  
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛病院

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

### 当院の位置と交通



#### 高速道路川内ICまでの所要時間

- 三島川之江IC(70km) 50分
  - 高松西IC(130.9km) 1時間30分
  - 徳島IC(170.9km) 1時間50分
  - 高知IC(130.1km) 1時間30分
- (川内ICから当院まで車で5分)

#### 交通機関

- 電車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分  
 または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
  - バス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分
  - 自家用車 松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分
- 無料駐車場完備